

# 知事記者会見の概要

日 時：令和3年3月7日（日） 16:35～16:54

場 所：502会議室

出席者：知事、防災くらし安心部長、健康福祉部長、医療統括監、  
広報広聴推進課長

出席記者：11名、テレビカメラ5台

## 1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から1件の発表があった。

その後、フリー質問があり、知事が答えて閉会した。

## 2 質疑応答の項目

### 発表事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対応について

### フリー質問

- (1) 発表事項に関連して

<幹事社：読売・日経・YTS>

## ☆報告事項

### 知事

本日、先ほど、「新型コロナ危機対策本部本部員会議」を開催いたしました。その場におきまして、本県の新型コロナ対応の目安であります、「注意・警戒レベル」を引き下げることといたしましたので、発表をいたします。

新型コロナにつきましては、全国的に新規感染者が減少傾向が続いておりますけれども、首都圏の1都3県では、病床使用率が高い地域もありまして、緊急事態宣言は3月21日まで再延長されたところでもあります。

県内では、1月下旬に福祉施設でのクラスターが発生するということもありましたけれども、2月中旬以降は、新規感染者数が確認されない日が多くなりまして、本日まで8日間連続でゼロとなっております。県内の感染状況は落ち着いた状況となっているというふうに認識をいたしております。

これはですね、県民の皆様、事業者の皆様が、大変ご努力、ご協力してくださったそのおかげだというふうに思っており、深く感謝申し上げます。

そういった状況もありますので、この度、全国や県内の感染状況を踏まえ、医療専門家からのご意見も頂戴した上で、本県の「注意・警戒レベル」をレベル4からレベル3へ引き下げました。

今後、感染防止対策に取り組みながら、停滞している県内経済活動の回復を進めてまいりたいというふうに考えております。

つきましては、県民の皆様や事業者の皆様には、引き続き、感染防止対策にご協力いただきたいと思っております。

3点申し上げますけれども、まず1点目は基本的な感染防止対策についてであります。

まず、県民の皆様には、引き続き「新しい生活様式」の徹底をお願いしたいと思います。これが基本となるからであります。こまめな手洗い、消毒、マスクの正しい着用、適切な換気、身体的距離の確保、3つの密を避けるといったこの基本的な感染防止対策を、しっかりと徹底していただきますようお願いいたします。

また事業者の皆様には、それぞれの業種別の感染拡大予防ガイドラインがございますので、その遵守、徹底をお願いしたいというふうに思っております。

2点目でありますけれども、緊急事態宣言対象区域との往来についてであります。首都圏では、緊急事態宣言が依然として継続中でありますので、対象区域であります東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県との不要不急の往来は、引き続き控えてください。

卒業旅行につきましても、これらの地域への旅行は控えてください。

それから3点目になりますが、年度末・年度始め等における会食についてであります。年度末・年度始め等に行われる歓送迎会、新入生歓迎コンパ、飲食を伴う謝恩会や花見などについて申し上げます。細かい点でありますけれど、非常に具体的な点を申し上げます。

普段一緒にいる人と、そして、大人数、長時間にならないようにしましょう。体調が悪い人は参加しないようにしましょう。弁当やテイクアウトの活用を検討しましょう。そして、重症化リスクの高い高齢者の方は、飲食を伴う会食は慎重にしましょう、ということをお願いします。

それからそのうちの会場について申し上げますけれども、会場はですね、業種別ガイドラインを遵守している飲食店を利用しましょう。座の配置は斜め向かいにしましょう。正面や真横はなるべく避けましょう、ということでもあります。

それから会食時の注意について申し上げます。お猪口やコップ、マドラーは使い回ししないで、一人ひとりで使うようにしましょう。深酒やはしご酒などは控え、適度な酒量にしましょう。それから会話の際にはマスクを着用しましょう。それから飲酒を伴うカラオケは、やはり控えましょう、ということでもあります。

また各種キャンペーン事業などについて申し上げます。Go To Eat キャンペーン事業、山形県プレミアム付きクーポン券につきましては、アルコールを伴う会食にもご利用いただけることといたしました。

また、「県民泊まって元気キャンペーン」などの県独自の観光関係事業につきましては、販売・利用期間を6月30日まで延長したところであります。

県民の皆様には、感染防止対策を引き続きしっかりと講じながら、多くの方にご利用いただくようお願いいたします。

なおですね、やはり、変異株がですね、福島県、そして新潟県まで出ておりますので、そういったこともこれからしっかりと注視をしていきたいというふうに思っているところであります。

今後の感染状況次第では更に引き下げる場合もございますし、引き上げる場合もございますので、十分注意して行動していただきますようよろしくお願いいたします。

私からは以上です。

☆フリー質問

記者

共同通信、阪口です。まず1点目伺います。ワクチンの接種についてなのですが、本部員会議の中でもですね、かなり、国のほうからのですね、ワクチンの入荷状況が相当不透明な部分があつてですね、課題として指摘されていた点でもありますけれども、3月の医療従事者への接種が終わる前にですね、4月の高齢者接種のほうが始まるということを課題にあげられていました。県として総合調整を担う立場だと思っておりますけれども、今、現状

で国に求めたいことや課題、具体的にございましたら教えてください。

知事

そうですね、やはり、実施主体の市町村、そして医療従事者への接種に関しては県が実施するものでありますから、やはり正確な情報、確定した情報というものをですね、なるべく早く、こちらとしては入手したいというふうに思っておりますので、その情報提供というものを、確実な情報提供をなるべく早くいただきたいというふうに思っているところでもあります。それに尽きると思います。

記者

それはやっぱり、国のほうの情報というのはやっぱり遅いというふうにお感じになっているという感じでしょうか。それとも、このようなもので臨機応変にしていけばいいかと、どういうふうに評価していらっしゃるでしょうか。

知事

そうですね、やはり一応の予定、スケジュールというようなことをやはり示されたわけでもありますけれども、できればですね、それに沿って県も市町村も実施というようなことで、調整をそれぞれしているわけなのですね。ですから、それに見合う量をですね、提供していただきたいという思いは強いわけでもありますけれども、ただいかにせん今日の、報道でもちょっと、いろんな事情、ファイザー社とのいろんなやり取りとかですね、確認はできませんけれども、いろいろなやっぱり事情があるのだなということも思っておりますので、確実な情報をいただいて、それによってその調整を何回もし直すというようなことがないように、何回も調整し直すと本当に実施主体である市町村の負担も大きくなるというふうに思っておりますので、確実な情報を頂いて、確実に実施できるようにしたいというふうに思っております。

また、もう一点はやはり、そういったいろいろな事情、国内でというような供給をされるというものでもないということがありますので、国際状況もあるようでもありますので、やはり、一方でですね、臨機応変に対処できるようにもしていければというふうにも思っておりますので、その両面で、とにかくその県民の皆さんにしっかりとワクチン接種ご希望の皆様にはしっかりとできるようにしていきたいというふうに思っております。

記者

山形新聞の田中と申します。一点、今知事がですね、なかなかスケジュールの遅れとかですね、ロットの遅れとかも見込まれるというようなことのご認識示されましたけれども、そういった当初組んだスケジュールからずれる、日時とか量がですね、そういったことも想定した、例えばその調整とか、対策とか、現状でどのように今検討なさっておられると

いうふうに伺えばよろしいでしょうか。それも見越したという。

#### 知事

いやいや、まだ見越しての対応まではいっていないのかなというふうに思っております。一応示されたスケジュールというものを踏まえてですね、調整をですね、実施主体のほうでも始めていらっしゃるのかなと思っておりますので、それでやはり確実な情報をしっかりといただきたいということを県からも申し上げていきたいというふうに思っております。遅れるなら遅れるで、確実なところが分かれば、それをやはり市町村と一緒にですね、共有して、それに対処していくということが出来ますので、わからないというのが一番困るのであります。でも一方で、本当に政府のほうもわからないところもあるのかなという思いもあるものですからね、そういったこともやはりこちらとしても心の準備というものもしながらですね、市町村と一緒に、そういった意識共有も図っていければというふうに思っております。

#### 記者

すみません、もう一件。共同通信の阪口です。今回のキャンペーン、解禁されましたけれども、これはまた県内としては一週間以上、今、感染者ゼロの状況が続いておりますけれども、経済再開というような意味合いを色濃く出されたというという理解でよろしいでしょうか。それとももちろん感染対策をしたうえでということだと思えますけれど、その辺のメッセージいかがでしょうか。

#### 知事

そうですね、2月に入ってから確認されない日が多くなったということ。そして本日まで8日連続して感染確認がゼロだという日が続いております。そういった状況は一つありまして、また一方でその飲食店とか、観光事業そういったところでは、大変、納入業者も含めてですね、ものすごい危機的な状況だと聞いているものですから、やはりメリハリをつけて、できる限り、経済活動と感染防止をですね、メリハリをつけていきたいという思いがあります。ただ、さきほど申し上げたように、変異株というものが隣県まで来ているというような状況もありますので、今後そういった変異株がですね、本県に入ってきて、感染拡大になったときにはまた県のほうでしっかりとこういう状況になりました、ということでレベルについてのお話を申し上げたいと思っております。

3月というのはやはり人の移動があったり、さまざまな会合ですね、そういったこともある月だというふうに思っておりますので、いろいろな方々から県でレベルを見直してほしいとかですね、もうちょっと前向きな経済活動に対しての県としての姿勢を頼みたいというようなこと、声が多々ございましたので、本当に私も同じ思いでありますので、県民の皆さん、事業者の皆さんには十分に基本的な対策というものを、防止対策を引き続き守つ

ていただきながらになりますけれども、メリハリをつけて、ある程度ですね、規制緩和ということになるのではないかなというふうに思っております。レベル4からレベル3に下げたということは、そこにですね、経済活動と感染防止対策との両立を図っていきたいという思い、そして現状、大変深刻な状況にある皆様方と一緒にメリハリをつけてこういう状況を乗り切っていきたいという考えがございます。

記者

すみません、観点変わってなのですけれども、これまでこういった本部員会議なのですけれども、日曜日とか休日に開催されることが多くてですね、これまでどちらかというと拡大傾向で緊急を要するときということが多かったと思うのですが、本日などは、結構週明け前からだいぶ落ち着いてきたような雰囲気があって、県議会でも、金曜日でしたかね、知事が引き下げを検討されているという話もあったと思うので、金曜日のうちとかです、月曜日のうち、皆さん幹部の方がこうやって日曜日に集まっていっしゃるというのも、なかなか、今、働き方改革とか言われる時代に合わないんじゃないかという見方もできると思うのですけれども、そのあたりどのようにお考えでしょうか。

知事

はい、ありがとうございます。働き方改革ということでは、やはりおっしゃる通りかと思いますが、医療専門家の皆様方のご意見というものも、数日かけてお伺いして参りました。また政府のほうの動向ですね、再延長になるかならないかとか、そういったこともやはり注視しながらですね、検討は何回か行ってきたところであります。そういった動向をですね、注視してきたうえで、そして決定が本日になったということをご理解いただきたいというふうに思います。